

これならできる!

# デジタル超入門

## 第10回

### SD/CDレコーダー ローランド「CD-2e」 で録音してみました

◆ご協力いただいた先生

**躰井野衣** 先生(つつい・やえ) ●東京都台東区在住。国立音楽大学ピアノ教育専修を首席で卒業。岡本賞受賞。在学中、海外研修奨学金を授与。ピティナ本部スタッフ勤務を経て現在各地で個人レッスン、伴奏を中心に活動。



先月号でご紹介した通り、ローランドの「CD・2e」は、CDやSDメモリー・カードへの録音、再生がラジカセ感覚で簡単にできるレコーダー。その使い方をマスターした躰井野衣先生が、「CD・2e」を持って出かけた先は？

「今日は生徒さんのお家で『弾き合いっこ会』をさせていただきました。発表会やコンクール以外でも、人前で演奏する経験を数多く積んでほしいと思って…」

「CD・2e」はコンパクトで1・1kgと軽量。これ1台あれば録音、再生はもちろん、なんと編集まで可能

なので、先生の手荷物はスッキリ、身軽だった。

「弾き合いっこ会」に参加したのは、小学1年から3年までの5人の生徒さんと、そのご家族の皆さん。和やかな雰囲気の中、コンサートはスタートした。「CD・2e」はリモコン操作が可能なので、先生は機械に縛り付けられることなく、生徒さんの演奏に集中することができた。

30分ほどで「弾き合いっこ会」は終了。さっそく再生を試みる先生。興味深げに先生の手元を見つめる生徒さんたちは、「CD・2e」の内蔵スピーカーから音が流れるや、歓声を

あげたり、はにかんだり…。その顔に笑みがこぼれた。

「CDへの編集作業は、演奏後にみんなでお茶をいただいたりしている間にさせてしまいました。これまではCDを渡すまでに時間がかかっていたので、コンサートの興奮が冷めてしまっただけで、自宅で演奏を聴き返して話に花を咲かせたり、それが練習に良い影響をもたらしたり、というよりは、記念として大切にしまいたいでしょう(笑)という感じだったように思います。でも、「CD・2e」があれば、編集がその場ででき、その日のうちに持ち帰ることができるので、

特別感が増すし、練習のやる気にもつなげやすいですね。生徒はCDをご褒美のひとつとしてとらえてくれたようです。今回はカラフルな色のCDを用意して、それぞれの生徒のイメージに合う色を選んでみました。日ごろから、どうしたら自分の音をもっと聴いてくれるようになるだろうと試行錯誤していたので、生徒たちが自分の演奏を聴く機会を手軽に作る事ができるのが、指導者としては何よりうれしいです」

と先生。  
では、親御さんの反応は？



朴家の3兄妹。まだピアノを習っていない末っ子の妹さんは、いつも自分だけが参加できないことを寂しがっていたそうだ。でも今回は、「CDを家で何度も聴いて、楽しんでいました。きっと、自分も仲間入りできたような気分になって、うれしかったのだと思います」とお母様。

この日は、お母様がピアノ、妹さんがヴァイオリンで特別出演。親子共演の思い出が詰まった、熊谷家の音のアルバムが完成した。



## ローランド「CD-2e」



全員の演奏が終わったところで、さっそく再生。自分の演奏が流れてくるのをワクワクしながら待つ子どもたち。



今回、ご自宅を提供された竹俣さんご一家。本番前日に骨折するというハプニングに見舞われ、練習の成果を発表できなかったお兄ちゃん。「お友達がCDをもらったのを見て、今度は頑張ろうと思ったようです。ぜひまた、このような機会を設けていただきたいです」とお母様。

お友達同士での弾き合いっこ会は初めてという池田さん母娘。「最後のレッスンでたくさん注意をしましたが、当日までにお母様と一緒にしっかり仕上げられてきました」と躰井先生。

